

瀬戸大橋記念館

瀬戸大橋記念公園内に設置された瀬戸大橋記念館は、瀬戸大橋の開通を祝って 1988 年にここで開催された記念博覧会のパビリオンでした。独特の建物の天井にはガラス製のピラミッドがあり、正面には高いコンクリートの柱が立っています。瀬戸内海歴史民族資料館やその他いくつかの建築物を香川県で手がけた、建築家の山本忠司（1923–1998）による設計です。記念館の 4 つの展示室にある展示品からは、1 世紀以上昔に遡る構想の初回提案時から、採用された建設方式や工学技術まで、橋の歴史と構造についての見識をうかがうことができます。ジオラマ、動画、その他の視覚資料がさまざまな出来事を紹介しています。屋上には、橋を間近に観ることができる眺めの良い展望台があります。